

## 第6回春コン グループワーク【要約】

『自分の事業所・専門職としての立場で、いま困っている事』  
～みんなでグチろう！～

《病院に関して》

- 【連携】・大きな病院程、どこに連絡を取っていいのかわからない。
  - ・入院後、何日目くらいで状態確認したらよいか。
- 【現状】・急性期病院の為、在宅への復帰が少ない。しかし、受け入れてくれる施設が少ないため、行く先が見つからない。
  - ・退院に合わせてサービスの検討を行いたいが、タイミングが合わず退院してしまうケースがある。環境整備が間に合わない。
- 【要望】・他職種が病院の看護師にどうして欲しいのか知りたい。

《医師に関して》

- 【医師への要望】・担当者会議などの場に医師がいないことが多い。
  - ・医者同士のコミュニケーションが不足しているという問題。
  - ・医師と話せる機会が少ない
  - ・医師と研修の時間が合わない
  - ・大規模の病院の医師、特にコンタクト取りにくい。
  - ・訪問マッサージの指示書を医師が書きたがらない。
  - ・受診の時に「年齢のせい」にしないで欲しい
- 【医師の意見】・主治医意見書について、急に初対面で書けと言われても困る。通院先の病院や、経過を知っている病院が書いた方が良いのではないかと。
  - ・訪問診療医が少ない。
  - ・訪問診療医、休まらない。国としては在宅推進なのに点数も上がらない。
  - ・医師が大変すぎる。
  - ・小児でも、チーム連携は必要。
  - ・事前にきちんと説明してくれれば時間をとります。
  - ・動ける人達が動ける体制ができれば、月に1回でも訪問できるのではないかと。

《薬剤に関して》

- 【現状】・薬の管理が出来ない人増加。
  - ・利用者が、残薬調整について医師に話せない。
  - ・在宅をやりたいが、なかなか大変。人数が少ないと、地域包括の会議などに出席するにも業務に追われて困難。現場に出たくても出られない。
- 【対応】・かかりつけ薬局（自宅から一番近い薬局）に行ってほしい。
  - ・担当者会議に声がかからない

- ・薬剤師もケアプランを貰えると患者の状況が分かり助かる。
- ・薬剤師の仕事をもっと理解して欲しい。もっと頼ってほしい。
- ・残薬の多い患者の対応として、医師が処方目的を説明することが必要。

#### 《接骨師会に関して》

【現状】・対象にならない人が多く来院する。

#### 《通所サービスに関して》

【現状】・体調不良者や状態の悪い方の預かりが不安。

- ・処置を必要とする利用者が増加。
- ・利用者だけの事を考えていく事が難しい。決まった範囲以上の事は出来ない。

【対応策】・処置内容については、ケアマネを通じて医師と連携を取った方が良い。

#### 《訪問サービスに関して》

【現状】・訪問介護の事業所が減少している。

- ・ヘルパー＝家政婦と思われてしまう
- ・訪問看護指示書が届いてサービス開始できるまで時間がかかる。
- ・総合事業の受けてがいない。

#### 《リハビリに関して》

【現状】・リハビリにおいて、退院すると入院中関わった自己リハビリが継続できておらず、ADL低下して再入院してしまったケースがある。

- ・常にうまくいくわけではないことがストレス。患者の次の行き場がない、先に進まない、リハビリを卒業できない。
- ・病院の仕事も法的に厳しくなり、地域への参加がしにくくなっている。
- ・介護保険のサービスの提案に対して早期にケアマネと詰めたいが病院主体で進んでしまう。
- ・外来リハビリ患者の、介護保険利用が有り無しについて初回段回でわからない。
- ・リハビリの目標をたてるのに、家族の意向が必要だが、なかなか協力が得られない。
- ・ケアマネからすると、どこまで聞いてよいのかわからない。

【対応】・自立するためのゴールを数値などで表す。

- ・医療リハと介護リハの連携が必要。

#### 《ケアマネに関して》

【現状】・ケアマネとの連絡のタイミング、連携の取り方

- ・男性が、認定調査のアポを取ると不審がられる。
- ・ケアマネに相談するが、多忙であり情報の共有が出来ていない。
- ・ケアマネとの相談に時間がかかり、その間に利用者の状態が変わってしまう。
- ・介護保険に関係のない仕事が多々ある。

- ・ケアマネとの連携の際、どこまで相談して良いかわからない。
- ・訪問看護から、どの程度の情報をケアマネに伝えれば良いのか連携が難しい
- ・ケアマネがいない。忙しさからアップアップしてしまう。
- ・事業対象者が増えたが、ケアマネも限られ委託先が見つげづらい。

- 【対応】・ケアマネから、『いつでも連絡ください』と言ってもらえると連絡取りやすい。
- ・第一報は、キーパーソンではないか。

#### 《包括に関して》

- 【現状】・相談件数が増えている。どこまで関係を持っていくか…。
- ・業務の種類が多すぎる。
  - ・休む暇、考える暇もない。

- 【対応】・地域ケア会議に薬剤師、栄養士の参加が少ないので、ぜひ来てほしい。

#### 《介護保険申請に関して》

- 【現状】・介護認定がおりにるまで時間がかかる。
- ・介護保険の更新が遅いので、保留が多く不安。
  - ・認定出るまで長い申請数も多く、職員も限られており 40 日くらいかかっている。
  - ・費用にまつわる制度やその申請についての認識が浸透していない。

#### 《施設に関して》

- 【現状】・病状不安定な利用者が老健入所を断られてしまったので困っている。
- 【対応】・特養、多床室をもっと作ってほしい。高い。

#### 《その他》

- 【連携の現状】・他事業所への電話連絡でつまづく。
- ・営業時間外に電話がくる
  - ・情報送信だけだと、その後のレスポンスが不明慮。
  - ・顔が見えないと相談しにくい
  - ・制度を知らないで動いている人がいる…
  - ・地域資源を把握しづらい
  - ・いつからサービス利用、内容を決め始めれば良いか悩む。
  - ・福祉用具業者に対する認知度が低く、不審がられる事も多い。
  - ・核家族で家族の協力を得にくい。
- 【連携の対応】・MCS を使って連携出来たらよい。
- ・連携の為に、職種と人の性格を知る、強みを知る。